



Stories for the 64th English Reading Contest 2020

[2020年度 第64回 (後期) 英語朗読コンテスト テキスト]

もっと

英語に自信をつけたい!



英語朗読

コンテスト

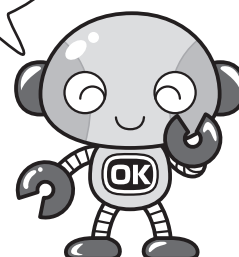
朗読のチェックポイント

- ① Flow
すらすらと流れる (flow) ように読んでいるかな?
- ② Pronunciation
発音 (pronunciation) や音の高低と強弱を正しく読んでいるかな?
- ③ Character
登場人物 (characters) になりきって読んでいるかな?
- ④ Drama
表現力たっぷり (dramatic) に読んでいるかな?
- ⑤ Attitude
自分から進んで、楽しんで読んでいるかな?

模範 CD を何度も
聞いて練習しよう!



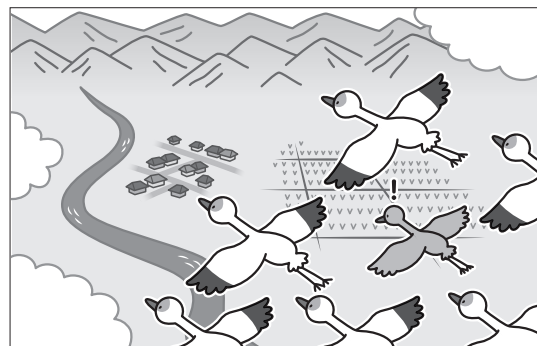
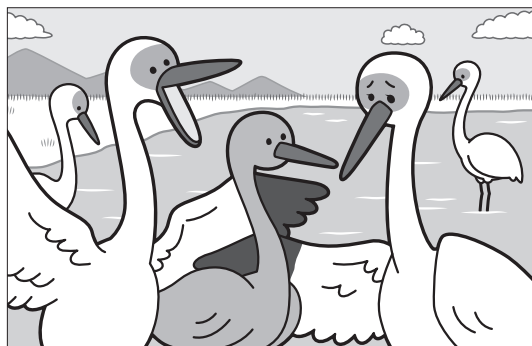
主催 教育開発出版株式会社
協賛 株式会社旺文社



Migratory Birds

- ① Some migratory birds are getting ready for a trip.
- ② “Honk, honk! It’s time to fly south,” says mama crane.
- ③ “Mimi, let’s practice!” Mama is a little worried.
- ④ “Peep-peep! I’m OK. I can fly! I have no fear of flying!”
- ⑤ “But can we fly over the Himalayas?” Mama sounds worried.
- ⑥ “Haha, no worries! We’ll catch the updraft,” answers Papa.
- ⑦ Many families take off and fly in beautiful formations. Swoosh! Whoosh!
- ⑧ It’s a 4,000-mile flight from Russia to India.
- ⑨ “Oh, wow!” Mimi gasps at the bird’s-eye view of the world.

(88 words)



わた どり 渡り鳥

- ① 渡り鳥たちが旅のしたくをしています。
- ② 「カーカー！ 南の方へ飛ぶ時がきたわよ」とツルのママが言います。
- ③ 「ミミ、練習しましょう！」 ママは少し心配しています。
- ④ 「ピーピー、だいじょうぶよ。私、飛べるもの！ 飛行恐怖症なんかないの！」
- ⑤ 「でもヒマラヤ山脈を飛び越えられるかしら？」 ママは心配そうな声です。
- ⑥ 「ははっ、大丈夫！ 上昇気流に乗ればいいんだ」とパパが答えます。
- ⑦ 多くの家族が舞い上がって、すばらしい隊列で飛んでいます。ピューッ！ シュワーッ！
- ⑧ ロシアからインドまで4千マイルもの飛行です。
- ⑨ 「わあ、すごい！」 ミミは世界を見おろして息をのみます。

Full Moon in Mid-Autumn

- ① Leia invited Luke to a moon viewing on Saturday.
- ② It's a new local event.
- ③ Luke was not excited. "Just sit and stare at the moon? Not even a telescope? Ho-hum..."
- ④ Leia answered, "Of course not! We offer dumplings and pampas grass to the full moon."
- ⑤ "People believed a huge rabbit lived there and pounded out rice cakes."
- ⑥ Luke laughed. "Hahaha! Science fiction! There's no life on the moon."
- ⑦ "It's an old tradition, not NASA images," said Leia.
- ⑧ "We enjoy watching the beautiful moon, eating *odango*."
- ⑨ "Nothing else?" asked Luke.
- ⑩ "Well, boys and girls can dance under the moonlight," Leia winked.
- ⑪ Luke shouted right away, "Yippee! Count me in!"

(108 words)



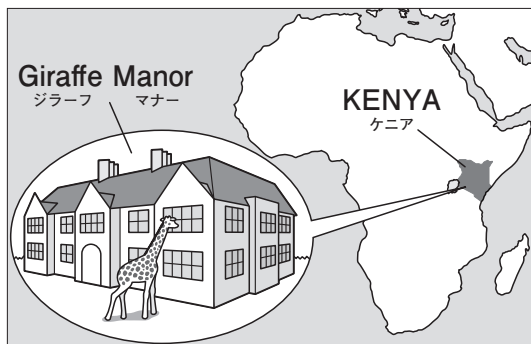
ちゅうしゅう めいげつ 中秋の名月

- ① 令亜がルークを土曜日のお月見に招待しました。
- ② それは新しいローカルイベント（地元（じもと）の行事（ぎやうじ））です。
- ③ ルークは気乗り（きのか）りしませんでした。「ただすわって月（つき）を眺（なが）めるの？ 望遠鏡（ぼうえんきやう）もないのに？ うーん…」
- ④ 令亜（れいあ）が答え（こた）えました。「まさか！ お団子（だんご）とススキ（すすき）を満月（まんげつ）にお供（そな）えするのよ」
- ⑤ 「月（つき）には大きなウサギ（うさぎ）が住（す）んでいて、餅つき（もちつき）をしているって、人々（ひとびと）は信（しん）じていたの」
- ⑥ ルーク（るーく）が笑（わら）いました。「ははは！ サイエンスフィクション（science fiction）だね！ 月（つき）には生命（せいめい）なんてないよ」
- ⑦ 「古（ふる）くからの言（い）い伝（つた）えだもの、NASA（NASA）の写（しゃ）真（しん）じゃないわ」と令亜（れいあ）が言（い）いました。
- ⑧ 「お団子（だんご）を食（た）べながら、きれいな月（つき）を見（み）て楽（たの）しむってわけ」
- ⑨ 「ほかに（ほかに）は何（なに）も？」 ルーク（るーく）がたずね（たずね）ました。
- ⑩ 「えーと、男（おとこ）の子（こ）も女（おんな）の子（こ）も月（つき）明（あ）り（あ）の下（した）で踊（おど）ってもいいのよ」と令亜（れいあ）がウインク（wink）しました。
- ⑪ ルーク（るーく）がすぐ（すぐ）に声（こゑ）をあげ（あ）げました。「いいぞ！ ほくも加（く）えてお（お）いて！」

Walking Tall and Friendly

- ① After flying more than 11,000 kilometers, Sama and Yudai arrived in Kenya, Africa.
- ② The family was on their vacation at Giraffe Manor, a small, exclusive lodge.
- ③ “Hmm.... Where are the savanna animals like lions and elephants?” asked Sama.
- ④ Her father smiled and answered, “You’ll have surprising visitors tomorrow.”
- ⑤ The next morning, the family was eating breakfast in the dining room.
- ⑥ Suddenly, somebody tapped on the windows, like saying, “Open, please!”
- ⑦ Two giraffes stuck in their long necks: “Food, please!”
- ⑧ “Whoa! Here they are! Ah-haha!” laughed Yudai.
- ⑨ “This one is nudging its nose against me!”
- ⑩ Slurp! “This one is kissing me with its long tongue!” Sama giggled.
- ⑪ A waiter came to their table. “Here is some giraffe food. Feed them, children.”
- ⑫ Munch, munch! Gulp! The giraffes chewed like saying, “Yummy!”

(129 words)



たか
高らかにフレンドリーに

- ① 紗麻と雄大は、1万1千キロ以上飛行機に乗って、アフリカのケニアに着きました。
- ② 家族は小さな高級リゾート『ジラフマナー』で休暇中です。
- ③ 「えーと、ライオンやゾウなどサバンナの動物たちはどこにいるの？」と紗麻がたずねました。
- ④ お父さんがニコニコしながら答えました。「明日、びっくりするお客さんが来るよ」
- ⑤ 翌朝、家族は食堂で朝食を食べていました。
- ⑥ 突然、誰かが「開けてちょうだい！」と言っているかのように、窓をたたきました。
- ⑦ 2頭のキリン（ジラフ）が長い首を突っ込んできました。「食べ物ちょうだい！」
- ⑧ 「わーい！ ほら、来た！ あはは！」と雄大が笑いました。
- ⑨ 「この子、ぼくに鼻をこすりつけてるよ！」
- ⑩ ペロッ！ 「この子は長い舌で私にキスしてる！」 紗麻はクスクス笑いました。
- ⑪ ウェイターが彼らのテーブルにやって来ました。「キリンの餌だよ。お子さんたち、食べさせてあげて」
- ⑫ ムシャ、ムシャ！ ゴクン！ キリンたちは「おいしい！」と言っているかのように、もぐもぐしました。